

スキル標準ユーザー協会

# Standard Skill Inventory for iCD (SSI-iCD)

## 一般ユーザー用操作マニュアル

Creation Date: 2008/3/30

Last Updated: 2018/2/5

Control Number: 001

Version: 1.001



# 目次

システム概要 .....	3
システム名 .....	3
システムの目的 .....	3
システム処理概要 .....	4
ログイン/ログアウト .....	4
パスワード変更 .....	6
個人プロフィール .....	6
業務経歴登録・変更・削除 .....	7
プロジェクト経歴登録・変更・削除 .....	8
セミナー受講履歴登録・変更・削除 .....	10
タスク評価項目 .....	11
タスク評価項目（役割指定） .....	16
スキル .....	18
<b>SURVEY</b> 提出 .....	22
<b>SURVEY</b> 提出（タスク項目） .....	23
目標キャリアパス設定 .....	24
フレームワーク閲覧 .....	26
タスク項目レベル .....	29
個人情報プリントアウト .....	32
履歴差分表示 .....	33

---

## システム概要

本章は、本システムについての基本事項について解説しています。

---

### システム名

正式名称	Standard Skill Inventory for iCDシステム
英語名称	SSI-iCD

---

### システムの目的

SSI-iCDシステムは、主に以下の4つの目的を掲げています。

- ・ エンジニアのタスク遂行力をフレームワーク（※）上で判定
- ・ エンジニアのタスク遂行力・スキル情報の管理
- ・ エンジニアのプロジェクト経歴・受講履歴の管理
- ・ エンジニア情報の検索

※フレームワークはシステム管理者機能で自由に作成が可能

## システム処理概要

SSI-iCDシステムの一般ユーザー処理概要を以下に記述します。

### ログイン/ログアウト

#### ログインID・パスワードの入力

ログインID、パスワード入力し、システムにログインします。

初期状態ではパスワードは未設定となっています。ログインIDを入力してログインボタンをクリックしてください。

#### 注意

- ・ パスワードは大文字小文字が区別されます。

管理者からのアナウンスがあれば表示されます。

サンプル環境  
Standard Skills Inventory for iCD LOGIN

管理者からのお知らせ

ログイン画面へのメッセージ  
ログイン後は、必ずパスワードを変更してください

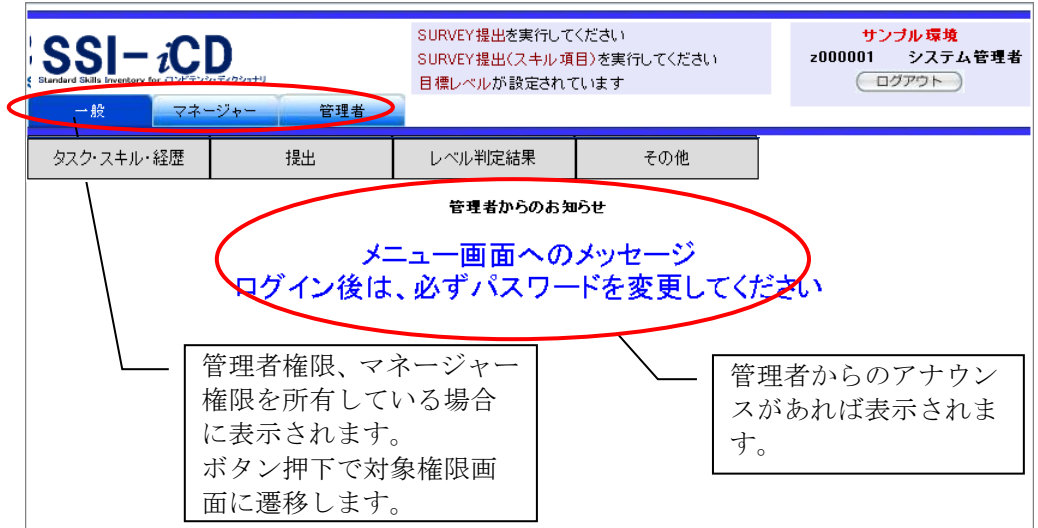
企業パスワード	<input type="password"/>
ユーザID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

パスワードは大文字小文字が区別されます

## メニュー画面

ログイン後に全メニューが表示され、SSI-iCDシステムの機能を利用することが可能となります。尚、画面下部にはメニューで選択した機能の画面が表示されます。

※表示メニューはシステムの設定により異なります。



メニューの各機能へのリンク表示の左側にある◆または□は次のような意味を表しています。

- ◆：この項目についての情報が登録されています。
- ：この項目についての情報が登録されていません。

## ログアウト

一旦ログインを行うと、ブラウザを閉じるまでは再ログインが不要となります。つまり、システムにアクセスすると同時にログイン画面は表示されずに、上記のメニュー画面が表示されます。従って、システムの使用を終了する場合や、別のアカウントを使って再度ログインしたい場合などは一旦ログアウトを実行します。画面左下の「ログアウト」をクリックすれば、セッション情報は削除され、ログイン画面に戻ります。

## パスワード変更

パスワードを変更します。

メニューの「その他」→「パスワード変更」をクリックすると次のような画面が表示されます。

### パスワード変更

- ・パスワードは半角英数字4文字以上10文字以内で設定してください
- ・パスワードは大文字小文字が区別されます
- ・ログインIDと同じパスワードは設定できません

ログインID	master
現在のパスワード	<input type="password"/>
新パスワード	<input type="password"/>
新パスワードを再度入力	<input type="password"/>

「現在のパスワード」には現在設定されているパスワードを、「新パスワード」「新パスワードを再度入力」に新規に設定したいパスワードを入力し、「変更」ボタンをクリックします。パスワードは半角英数字4文字以上10文字以内で設定します。

### 注意

- ・パスワードは大文字小文字が区別されます。
- ・ログインIDと同じパスワードは設定できません。

## 個人プロフィール

ユーザー本人のプロフィールを閲覧します。

メニューの「その他」→「個人プロフィール」をクリックすると次のような画面が表示されます。

### 個人プロフィール

- ・個人プロフィールは編集できません

社員番号	110
氏名	サンプルユーザー_110
ログインID	110
Eメール	
所属部門	A本部
性別	

## 業務経歴登録・変更・削除

業務経歴の登録・変更・削除を行います。

メニューの「経歴・履歴の記入」→「業務経歴」をクリックすると、次のような画面が表示され、業務経歴の一覧を閲覧することができます。

業務経歴				
・業務経歴を登録してください				
<input type="button" value="業務経歴新規登録"/>				
部門／部署名	役職／役割	業務開始日	業務終了日	操作
●●部門	メンバー	2009/01/01	2009/01/01	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

新規に登録する場合は「業務経歴新規登録」ボタンをクリックします。内容を変更する場合は「変更」ボタン、削除する場合は「削除」ボタンをクリックします。

業務経歴	
・業務経歴を登録してください	
部門／部署名	本部選択 <input type="button" value="指定なし"/> 本部選択 <input type="button" value="未選択"/> <input type="text"/> <small>部門名を選択されるか、テキストに入力してください（必須入力）</small>
役職／役割	メンバー <input type="button" value=""/> <small>（必須入力）</small>
業務開始日	<input type="text"/> <small>（YYYY/MM/DD）（必須入力）</small>
業務終了日	<input type="text"/> <small>（YYYY/MM/DD）＊進行中の場合は空白</small>
コメント	<input type="text"/>
<input type="button" value="業務履歴登録"/> <input type="button" value="一覧に戻る"/>	

「業務経歴登録」ボタンをクリックすると、入力した内容で業務経歴情報が登録されます。

## プロジェクト経歴登録・変更・削除

プロジェクト経歴の登録・変更・削除を行います。

メニューの「経歴・履歴の記入」→「プロジェクト経歴」をクリックすると、次のような画面が表示され、プロジェクト経歴の一覧を閲覧することができます。

### プロジェクト経歴

・プロジェクト経歴を登録してください

プロジェクト経歴新規登録

プロジェクト名	開始日	終了日	操作
サンプルプロジェクト名	2004/04/01	進行中	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

新規に登録する場合は「プロジェクト経歴新規登録」ボタンをクリックします。内容を変更する場合は「変更」ボタン、削除する場合は「削除」ボタンをクリックします。

### プロジェクト経歴

・プロジェクト経歴を登録してください

プロジェクト経歴登録 [一覧に戻る](#)

プロジェクト名	<input type="text"/> (必須入力)		
会社名	<input type="text"/> ssi (必須入力)		
開始日	<input type="text"/>	(YYYY/MM/DD) (必須入力)	
終了日	<input type="text"/>	(YYYY/MM/DD) * 進行中の場合は空白	
プロジェクト概要	<input type="text"/>		
プロジェクト規模	金額	<input type="text"/> 指定なし	<input type="button" value="v"/>
	人数	<input type="text"/> 指定なし	<input type="button" value="v"/>
	期間	<input type="text"/> 指定なし	<input type="button" value="v"/>
	その他	<input type="text"/> 指定なし	<input type="button" value="v"/>
* プロジェクト規模について、それぞれ選択してください			
顧客名	<input type="text"/>		
役割・職種	メンバー	スタッフエンジニア	<input type="radio"/>
	サブリーダー	ファンクションや、機能レベルの副リーダー	<input type="radio"/>
	リーダー	ファンクションや、機能レベルのリーダー	<input type="radio"/>
	責任者	プロジェクト全体の責任者	<input type="radio"/>
(必須入力)			
役割・フェーズ	提案活動	プリセールスの活動	<input type="checkbox"/>
	プロジェクト計画	プロジェクトの計画を立てる	<input type="checkbox"/>
	業務分析	業務の分析を行う	<input type="checkbox"/>
	基本設計	基本設計を行う	<input type="checkbox"/>
	開発	プログラミング	<input type="checkbox"/>
	移行	移行作業	<input type="checkbox"/>
	保守・管理	システムの保守・管理	<input type="checkbox"/>
	その他	その他	<input type="checkbox"/>
(必須入力)			



チェックを付けたと、登録時にタスク評価項目へ反映します。

タスク評価項目追加

タスク評価項目削除

プロジェクト経歴登録 一覧に戻る

タスク評価項目	タスク大分類	タスク中分類	タスク評価項目	回答ランク	追加	削除
<input checked="" type="checkbox"/> 習得済みタスク評価項目として登録	事業環境の分析	経営方針の確認	自社の基本理念・ビジョン・方針を理解する	R1		

「プロジェクト経歴登録」ボタンをクリックすると、入力した内容でプロジェクト経歴情報が登録されます。

新規にタスク評価項目を登録する場合は「追加」ボタンをクリックすると、次のような画面が表示され、タスク評価項目を選択することができます。（追加した内容を削除する場合は「削除」ボタンをクリックします）

プロジェクト経歴

・登録を行うタスクを選択してください

戻る

選択すると、該当するタスク評価項目が表示される。

追加 タスク一覧に戻る

■ 貴方が登録したタスク評価項目 ■ マネージャが登録したタスク評価項目

タスク	タスク大分類	タスク中分類	タスク評価項目	回答	R0	R1	R2	R3	R4
事業戦略策定	事業環境の分析	事業戦略の策定	事業戦略実行体制の確立						
事業戦略把握・策定支援	事業環境の分析	事業戦略の策定	要求(構想)の確認						
IT製品・サービス戦略策定	市場調査	IT製品・サービス戦略策定	新ビジネスモデルへの提言						
IT戦略策定・実行推進	基本情報	IT戦略策定・実行推進	経営要求の確認						
システム企画立案	システム企画立案	システム企画立案	事業の方向性を判断するために、経営方針を把握する						
システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	事業で達成すべき目標を定めるために、企業目標を把握する						
	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	中長期のマイルストーンを描くために、中長期構想を把握する						
	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	戦略を描く範囲を確定させるために、対象とする事業領域を把握する						
	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	経営環境の調査・分析と課題の抽出						
	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	企業の内外環境の情報を収集し、企業の置かれている状況を分析する						
	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	経営課題解決に必要なITという視点から明らかになる経営資源の課題を分析、抽出する						
	システム要件定義・方式設計	システム要件定義・方式設計	分析、抽出した課題に対し、事業モデル構築面や事業運営面から課題を評価する						

追加 タスク一覧に戻る

## セミナー受講履歴登録・変更・削除

セミナー受講履歴の登録・変更・削除を行います。

メニューの「経歴・履歴の記入」→「セミナー受講履歴」をクリックすると、次のような画面が表示され、セミナー受講履歴の一覧を閲覧することができます。

### セミナー受講履歴

・セミナー受講履歴を登録してください

セミナー受講履歴新規登録

セミナー名	受講日	操作
サンプルセミナー	2004/04/01	<a href="#">変更</a> <a href="#">削除</a>

新規に登録する場合は「セミナー受講履歴新規登録」ボタンをクリックします。内容を変更する場合は「変更」ボタン、削除する場合は「削除」ボタンをクリックします。

### セミナー受講履歴

・セミナー受講履歴を登録してください

セミナー名	<input type="text"/>	(必須入力)
受講日	<input type="text"/>	(YYYY/MM/DD) (必須入力)
コメント	<div></div>	

セミナー受講履歴登録 [一覧に戻る](#)

「セミナー受講履歴登録」ボタンをクリックすると、入力した内容でセミナー受講履歴情報が登録されます。

## タスク評価項目

タスク評価項目の入力を行います。

メニューの「経歴・履歴の記入」→「タスク評価項目」をクリックすると、次のような画面が表示され、タスクの一覧を閲覧することができます。

「無効タスクのみを表示」にチェックを付けると無効タスクのタスクを表示し、無効タスクの登録が行えます。

### 備考

更新旗は、「タスク評価項目：更新旗設定」によって表示条件が変わります。

モード	モード概要
1	最後に更新を行ったタスクに旗が立つ
2 「	「設定」を実施したタスク全てに旗が立つ (旗のクリアが可能)

### タスク評価項目

・評価項目の入力を行うタスクを選択してください

タスク			
事業戦略策定	◆事業環境の分析		訂正あり
	◆事業戦略の策定		訂正あり
	◆事業戦略実行体制の確立		
事業戦略把握・策定支援	◆要求(構想)の確認		
	◆新ビジネスモデルへの提言		
	◆事業戦略の実現シナリオへの提言		
IT製品・サービス戦略策定	◆市場動向の調査・分析・予測		
IT戦略策定・実行推進	◆IT製品・サービス戦略の策定		
	◆基本方針の策定		
	◆IT化計画の策定		
システム企画立案	◆IT戦略実行マネジメント		
	◆システム化構想の立案		
	◆システム化計画の策定		
	◆業務・システム要件定義		
システム要件定義・方式設計	◆ITサービス要件定義		
	◆情報セキュリティ要件定義		
	◆システム化要件定義		
	◆システム化要件定義(Webサイト)		
	◆システム方式設計		

マネージャーにより修正された項目がある場合、「訂正あり」と表示されます。

上記、モードに沿って更新旗が表示されます。

入力するタスクをクリックします。

## タスク評価項目入力

タスク評価項目の入力を行います。

タスク画面の「タスク」をクリックすると、次のような画面が表示され、タスク評価項目を入力することができます。

タスク評価項目入力画面の背景色が赤字で表示されているものは、管理者もしくはマネージャーが入力したものです。内容を確認し、「設定」を行ってください。

**タスク評価項目【要求(構想)の確認】**

・評価項目を登録してください

ページ内ジャンプ

経営要求の確認

経営環境の調査・分析と課題の抽出

回答ランク

R0 なし

R1 経験はないが、知識はある

R2 他者の指導や指示に従い、実施した経験がある

R3 独力で実施した経験がある

R4 メンバーを指導した経験がある

設定
タスク一覧に戻る

貴方が登録したタスク評価項目
  マネージャーが登録したタスク評価項目

タスクに関連する研修情報を表示します 表示

経営要求の確認	未回答	R0	R1	R2	R3	R4
事業の方向性を判断するために、経営方針を把握する	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
事業で達成すべき目標を定めるために、企業目標を把握する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
中長期のマイルストーンを描くために、中長期構想を把握する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
戦略を描く範囲を確定させるために、対象とする事業領域を把握する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経営環境の調査・分析と課題の抽出	未回答	R0	R1	R2	R3	R4
企業の内外環境の情報を収集し、企業の置かれている状況を分析する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業の内外環境の分析結果と企業目標の関係を戦略指針として文書化する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経営課題解決に必要なITという視点から明らかになる経営資源の課題を分析、抽出する	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
分析、抽出した課題に対し、事業モデル構築面や事業運営面から課題を評価する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

設定
タスク一覧に戻る

各タスク評価項目に対する回答ランクを選択し、「設定」ボタンをクリックすると、入力した内容で回答情報が登録されます。

回答ランクには下記のような種類があります。（抜粋）

- ・ 知識あり
- ・ サポートがあれば実施可能
- ・ プロジェクトでの適応経験がある
- ・ 後進の育成・指導が可能

また、回答欄に対して補足説明が設定されている場合は、補足説明が表示されます。

回答ランク	補足説明
R0 知識、経験なし	
R1 トレーニングを受けた程度の知識あり	資格等を保有しているが経験がない場合を含む
R2 サポートがあれば実施できる、またはその経験あり	プロジェクト等を通して経験を積んだものを含む
R3 独力で実施できる、またはその経験あり	
R4 他社を指導できる、またはその経験あり	

## 注意点

タスク評価項目を新たに登録しても、レベル判定結果は更新されません。タスク評価項目登録後、Survey提出処理を行うことによって判定結果に反映されます。

## 備考

詳細情報の登録を行う場合「詳細あり」をクリックします。  
※以下の画面は、詳細情報の表示・設定内容によって表示内容が変更されます。

詳細情報の扱いのモードとその概要は、以下の通りです。

モード	モード概要
1	回答ランクの登録を行う。
2	参照情報として活用
3	使用しない。

## 詳細情報入力（モード1）

詳細情報の入力を行います。

タスク評価項目入力画面の「詳細あり」をクリックすると、次のような画面が表示され、詳細情報を入力することができます。

習得詳細項目

・貴方の詳細項目を登録してください

選択タスク

ソフトウェア詳細設計  
ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)  
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する。

回答ランク

R0 なし  
R1 経験はないが、知識はある  
R2 他者の指導や指示に従い、実施した経験がある  
R3 独力で実施した経験がある  
R4 メンバーを指導した経験がある

設定

閉じる

■ 貴方が登録した詳細項目 ■ マネージャが登録した詳細項目

ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する

未回答

R0

R1

R2

R3

R4

ソフトウェアエンジニアリング手法

ソフトウェアデザイン手法

ソフトウェアのモデリング手法

ソフトウェア開発手法

設定

閉じる

「設定」ボタンをクリックすると、入力した内容で詳細情報が登録されます。

## ロック機能

タスク評価項目の入力中は、選択したタスクに対して他ユーザーが同時に更新できないようロックがかかります。  
マネージャーが選択したタスクを設定中の場合は次のような画面が表示され登録内容の閲覧のみが可能になります。  
※本機能は、モード1の場合のみ発生します。

タスク評価項目【事業戦略実行体制の確立】

・評価項目を登録してください  
・詳細項目が登録されている場合には、そちらの情報が優先されます

ページ内ジャンプ

実現可能性の検証

実施準備

回答ランク

R0 なし

R1 経験はないが、知識はある

R2 他者の指導や指示に従い、実施した経験がある

R3 独力で実施した経験がある

R4 メンバーを指導した経験がある

現在、マネージャーが登録中ですので、下記のタスクは登録できません  
分類選択にお戻りください

タスク一覧に戻る

貴方が登録したタスク評価項目 マネージャーが登録したタスク評価項目

タスクに関連する研修情報を表示します 表示

実現可能性の検証	未回答	R0	R1	R2	R3	R4	詳細項目
売上、費用、利益等の数値計画と販売施策、実行計画等の実施施策との整合性を確認する							
事業のあるべき姿と現実とのギャップを確認する							
現状と照らし合わせた事業計画の実現性を確認する							
計画と実際に乖離が生じた場合の実施可能な対応策が立てられていることを確認する							

詳細情報についても、ロック中は閲覧のみが可能になります。

## 注意点

タスク評価項目入力中は選択したタスクに対してロックをかけている状態になります。ブラウザの「戻る」（ヒストリーバック機能）で画面遷移させると一定時間ロックがかかった状態になってしまいますので「設定」、「分類選択に戻る」をクリックしてください。

SSI-ICD◆操作マニュアル[一般ユーザー用]\_Ver1.0.doc

14

## 詳細情報（モード2）


参照情報の閲覧を行います。

タスク評価項目入力画面の「詳細あり」をクリックすると、次のような画面が表示され参照情報を閲覧することができます。

習得詳細項目	
選択タスク	
ソフトウェア詳細設計	
ソフトウェアコンポーネント設計(機能分割・構造化)	
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	
<input type="button" value="閉じる"/>	
ソフトウェア方式設計で定義したコンポーネントをコーディング、コンパイル、テストの実施に最適な単位のユニットに詳細化する	
ソフトウェアエンジニアリング手法	
ソフトウェアデザイン手法	
ソフトウェアのモデリング手法	
ソフトウェア開発手法	
<input type="button" value="閉じる"/>	

## 関連スキルディクショナリ

関連するスキルディクショナリの閲覧を行います。

タスク評価項目入力画面の「」をクリックすると、次のような画面が表示されタスクに関連するスキルディクショナリを閲覧することができます。

関連スキルディクショナリ		
<input type="button" value="閉じる"/>		
スキルカテゴリ	タスク分類	スキル項目
メソッドロジ	(戦略) 市場機会の評価と選定	ビジネス戦略と目標・評価
		経営戦略手法
関連知識	企業活動	経営・組織論
		OR・IE
スキルカテゴリ	タスク分類	スキル項目
<input type="button" value="閉じる"/>		

## 研修情報

関連する研修情報の閲覧を行います。

タスク評価項目入力画面の「タスクに関連する研修情報を表示します」の表示ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されタスクに関連する研修を閲覧することができます。

研修情報

・スキルアップに役立つ研修一覧です

研修ID	研修主管	研修カテゴリ	研修コース名	研修日数	研修場所	受講可能期間
0001	全社施策	営業	企業研修01	3.0	社内	2015/07/01 ~ 2015/08/01
0002	社外セミナー	マーケティング・ビジネス企画	マーケット調査02	5.0	会議室C	2015/01/01 ~ 2016/01/01

閉じる

## タスク評価項目（役割指定）

タスク評価項目の入力を行います。

メニューの「経歴・履歴の記入」→「タスク評価項目（役割指定）」をクリックすると、次のような画面が表示され、入力を行うフレームワークを指定することができます。

役割／専門分野指定 習得タスク評価項目

・フレームワークを選択してください

フレームワーク選択

☒ キャリアフレームワーク

フレームワーク選択

入力を行うフレームワークを選択し、「フレームワーク選択」をクリックすると次のような画面が表示され、役割を閲覧・選択することができます。



役割／専門分野指定 習得タスク評価項目

・貴方の入力を行ないたい役割／専門分野を選択してください

役割選択 フレームワーク選択に戻る

役割	専門分野
<input type="checkbox"/> ストラテジックプランナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ソリューションセールス	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ビジネスコンサルタント	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> プロジェクトマネージャー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ITアーキテクト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> アプリケーションデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> アプリケーションデベロッパー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> インフラデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ITサービスマネージャー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ITスタッフ	<input type="checkbox"/> -

役割選択 フレームワーク選択に戻る

入力を行う役割を選択し、「選択」をクリックすると次のような画面が表示され、その役割に条件として設定されているタスク一覧を閲覧することができます。

※ユーザーが既に入力済みの場合、ユーザーが選択した役割に対してチェックが入った状態で表示がされます。

役割／専門分野指定 習得タスク評価項目

・評価項目の入力を行うタスクを選択してください

選択フレームワーク  
キャリアフレームワーク  
選択 役割／専門分野  
ストラテジックプランナー -

戻る

タスク	
事業戦略策定	<input type="checkbox"/> 事業環境の分析 <input type="checkbox"/> 事業戦略の策定 <input type="checkbox"/> 事業戦略実行体制の確立
事業戦略把握・策定支援	<input type="checkbox"/> 要求(構想)の確認 <input type="checkbox"/> 新ビジネスモデルへの提言 <input type="checkbox"/> 事業戦略の実現シナリオへの提言
IT製品・サービス戦略策定	<input type="checkbox"/> 市場動向の調査・分析・予測 <input type="checkbox"/> IT製品・サービス戦略の策定
IT戦略策定・実行推進	<input type="checkbox"/> 基本方針の策定 <input type="checkbox"/> IT化計画の策定 <input type="checkbox"/> IT戦略実行マネジメント

入力するタスクをクリックすると、タスク評価項目を入力することができます。

※選択した、役割のレベル判定条件になっているタスク以外は表示されません

タスク評価項目、詳細情報の登録については「タスク評価項目」のタスク評価項目入力と同様。

## スキル

スキルの入力を行います。

メニューの「経歴・履歴の記入」→「スキル」をクリックすると、次のような画面が表示され、スキルの一覧を閲覧することができます。

### 備考

更新旗は、「スキル：更新旗設定」によって表示条件が変わります。

モード	モード概要
1	最後に更新を行ったスキルに旗が立つ
2	「設定」を実施したスキル全てに旗が立つ (旗のクリアが可能)

**スキルディクショナリ**

・入力を行うスキルを選択してください

スキル	
メソッド	◆(戦略) 市場機会の評価と選定
	□(戦略) マーケティング
	□(戦略) 製品・サービス戦略
	□(戦略) 販売戦略
	□(戦略) 製品・サービス開発戦略
	□(戦略) システム戦略立案手法
	□(戦略) コンサルティング手法
	□(戦略) 業務動向把握手法
	□(企画) システム企画立案手法
	□(企画) セールス事務管理手法
	□(企画) 要求分析手法
	□(企画) 非機能要件設計手法
	□(実装) アーキテクチャ設計手法
	□(実装) ソフトウェアエンジニアリング手法
	□(実装) カスタマーサービス手法
	□(実装) 業務パッケージ活用手法
	□(実装) データマイニング手法
	□(実装) 見積り手法
	□(実装) プロジェクトマネジメント手法
	□(利活用) サービスマネジメント
	□(利活用) サービスの設計・移行

上記、モードに沿って更新旗が表示されます。

訂正あり

マネージャーにより修正された項目がある場合、「訂正あり」と表示されます。

入力するスキルをクリックします。

## スキル入力

スキルの入力を行います。

スキルディクショナリ画面の「スキル」をクリックすると、次のような画面が表示され、スキルを入力することができます。

スキル入力画面の背景色が赤で表示されているものは、管理者もしくはマネージャーが入力したものです。内容を確認し、「設定」を行ってください。

スキルディクショナリ【(戦略) 市場機会の評価と選定】

・貴方の習得スキル情報を登録してください

回答ランク

L0 なし  
L1 技術内容を講義などを受講し知っている／知識がある  
L2 指示があると使える、活用できる／実装経験がある  
L3 機能要件が作成できる／自立してある限定条件で仕事ができる  
L4 非機能要件を考慮して最適化できる、最適解を出せる／定石外しができる／高度情報処理試験に合格するレベル  
L5 所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある  
L6 業界に貢献し認知されるレベルにある  
L7 業界をリードし市場への影響力があるレベルにある

設定 一覧に戻る

貴方が登録したスキル

(戦略) 市場機会の評価と選定	未回答	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	知識項目
ビジネス環境分析手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ビジネス戦略と目標・評価	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
業界動向把握の手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経営管理システム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経営戦略手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最新技術動向把握の手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
市場調査手法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

最後に更新をしたスキルに表示されます。  
更新旗のモードによっては表示されません

各スキルに対する回答レベルを選択し、「設定」ボタンをクリックすると、入力した内容でスキル情報が登録されます。

## 備考

知識項目の表示を行う場合「知識項目」をクリックします。

## 知識項目表示

知識項目の表示を行います。

スキル入力画面の「知識項目」をクリックすると、次のような画面が表示され、知識項目を確認することができます。

習得知識項目	
<b>選択スキル</b>	
メトロロジ	
〈戦略〉市場機会の評価と選定	
市場調査手法	
<input type="button" value="閉じる"/>	
	<b>市場調査手法</b>
	ASP
	IT業界の動向(事例)
	SaaS
	SOA
	マクロ環境分析
	仮説検証
	競合分析
	業務システム提案
	顧客パッケージ
	顧客分析
	市場の需要測定
	市場の定義
	市場機会の分析
	市場全体の把握
	市場調査の実施
	市場調査の設計
	市場調査計画の作成
	市場調査目的の設定
	市場動向及び他社動向の把握
	市場分析
	情報の収集
	情報の分析
	調査・分析手法
	内部環境分析(自社の強みと弱みの分析)
	<input type="button" value="閉じる"/>

## ロック機能

スキルを入力中は、選択したスキルに対して他ユーザーが同時に更新できないようロックがかかります。

マネージャーが選択したスキルを設定中の場合は次のような画面が表示され登録内容の閲覧のみが可能になります。

**スキルディクショナリ【(戦略) 市場機会の評価と選定】**

・貴方の習得スキル情報を登録してください

回答ランク

L0	なし
L1	技術内容を講義などを受講し知っている／知識がある
L2	指示があると使える、活用できる／実装経験がある
L3	機能要件が作成できる／自立してある限定条件で仕事ができる
L4	非機能要件を考慮して最適化できる、最適解を出せる／定石外しができる／高度情報処理試験に合格するレベル
L5	所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある
L6	業界に貢献し認知されるレベルにある
L7	業界をリードし市場への影響力があるレベルにある

現在、マネージャがスキルを登録中ですので、下記のスキルは登録できません  
一覧にお戻りください

一覧に戻る

貴方が登録したスキル
  マネージャが登録したスキル

(戦略) 市場機会の評価と選定	未回答	L0	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	知識項目
ビジネス環境分析手法	○	○	○	○	○	●	○	○	○	知識項目
ビジネス戦略と目標・評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	知識項目
業界動向把握の手法	○	○	○	○	○	○	●	○	○	知識項目
経営管理システム	○	○	○	○	○	○	●	○	○	知識項目
経営戦略手法	○	○	○	○	○	●	○	○	○	知識項目
最新技術動向把握の手法	○	○	○	○	●	○	○	○	○	知識項目
市場調査手法	○	○	○	○	●	○	○	○	○	知識項目

一覧に戻る

## 注意点

スキル入力中は選択したスキルに対してロックをかけている状態になります。ブラウザの「戻る」（ヒストリーバック機能）で画面遷移させると一定時間ロックがかかった状態になってしまいますので「設定」、「一覧に戻る」クリックを行うようにしてください。

## SURVEY提出

提出処理を行います。

タスク評価項目を新たに登録しても、レベル判定結果は更新されません。タスク評価項目設定後、このSurvey提出処理を行うことによって判定結果に反映されます。

メニューの「提出」→「SURVEY提出」をクリックします。

### フレームワーク毎SURVEY提出機能

SURVEY提出を行う際に、各レベルの再認定処理を行う、フレームワークを選択します。

※本機能は、デフォルトOFFになっています。

SURVEY提出

・フレームワークを選択してください

フレームワーク選択	ステータス
<input type="checkbox"/> キャリアフレームワーク	SURVEY提出済
<input type="checkbox"/> キャリアフレームワーク_2	SURVEY提出済

SURVEY提出

## SURVEY提出（タスク項目）

※本機能は、デフォルトOFFになっています。  
提出処理を行います。

タスク評価項目を新たに登録しても、タスク項目レベルは更新されません。タスク入力後、この提出処理を行うことによって各タスク項目レベルの再認定処理が行なわれます。

メニューの「SURVEY提出（タスク項目）」をクリックします。

### フレームワーク毎SURVEY提出(タスク項目)機能

SURVEY提出を行う際に、各レベルの再認定処理を行う、フレームワークを選択します。

※本機能は、デフォルトOFFになっています。

SURVEY提出(タスク項目)

・フレームワークを選択してください

フレームワーク選択	ステータス
<input type="checkbox"/> キャリアフレームワーク	SURVEY提出済
<input type="checkbox"/> キャリアフレームワーク_2	SURVEY提出済

SURVEY提出

## 目標キャリアパス設定

フレームワーク上に、キャリアパスマークを表示させます。

メニューの「提出」→「目標キャリアパス設定」をクリックすると、次のような画面が表示され、目標キャリアパスを設定するフレームワークを選択することができます。

目標キャリアパス設定

- ・目標キャリアパスを登録します
- ・登録を行うフレームワークを選択してください

フレームワーク選択 | 目標キャリアパス

☒ キャリアフレームワーク (未設定)

フレームワーク選択

「フレームワーク選択」をクリックすると、次のような画面が表示され、目標キャリアパスを設定することができます。

目標キャリアパス設定

- ・目標キャリアパスを登録します
- ・ここで登録したキャリアパスはキャリアフレームワークで表示されます

目標キャリアパス (未設定) | キャリアパス選択 | 目標キャリアパスを未選択に戻す ▼

このキャリアパスを目標に設定 | フレームワーク選択に戻る

新規に目標キャリアパスを登録する場合は、キャリアパスを選択し、「このキャリアパスを目標に設定」ボタンをクリックします。



目標キャリアパス設定

・目標キャリアパスを登録します

・ここで登録したキャリアパスはキャリアフレームワークで表示されます

目標キャリアパス (未設定)

キャリアパス選択 プロジェクトマネジメント

このキャリアパスを目標に設定

フレームワーク選択に戻る

キャリアパス名【プロジェクトマネジメント】

役割	専門分野	エントリー Level1	アシスタント Level2	ミドル Level3	シニア Level4	エキスパート Level5	プロフェッショナル Level6
ストラテジックプランナー	-						
ソリューションセールス	-						
ビジネスコンサルタント	-						
プロジェクトマネージャー	-				▶	▶	▶
ITアーキテクト	-						
アプリケーションデザイナー	-		▶	▶	▶		
アプリケーションデベロッパー	-	▶	▶				
インフラデザイナー	-						
ITサービスマネージャー	-						
ITスタッフ	-						
役割	専門分野	Level1 エントリー	Level2 アシスタント	Level3 ミドル	Level4 シニア	Level5 エキスパート	Level6 プロフェッショナル

フレームワーク上にある「キャリアパス選択」のリストボックスで、表示させたいキャリアパスを選択します。

旗のマークが並んだレベルが、キャリアパスのルートとなります。

## フレームワーク閲覧

ユーザー本人のフレームワークを閲覧します。

メニューの「レベル判定結果」→「フレームワーク名」をクリックすると、次のような画面が表示され、フレームワークを閲覧することができます。

キャリアフレームワーク							
◆表示オプション							
○キャリアパス表示							
非表示							
○目標レベル表示							
GO							
User01さんのキャリアフレームワーク							
役割	専門分野	エントリー Level1	アシスタント Level2	ミドル Level3	シニア Level4	エキスパート Level5	プロフェッショナル Level6
ストラテジックプランナー	-					*	*
ソリューションセールス	-	*	*	*	*	*	*
ビジネスコンサルタント	-				*	*	*
プロジェクトマネージャー	-				*	*	*
ITアーキテクト	-				*	*	*
アプリケーションデザイナー	-		*	*	*	*	
アプリケーションオペレーター	-	*	*	*			
インフラデザイナー	-	*	*	*	*	*	
ITサービスマネージャー	-				*	*	*
ITスタッフ	-	*	*	*	*	*	
役割	専門分野	Level1 エントリー	Level2 アシスタント	Level3 ミドル	Level4 シニア	Level5 エキスパート	Level6 プロフェッショナル

各レベルをクリックすると、レベル判定条件を閲覧することができます。

### レベル判定条件

レベル判定条件の閲覧を行います。

## キャリアフレームワークレベル認定条件

フレームワークに戻る

タイトル	キャリアフレームワーク
役割	プロジェクトマネージャー
専門分野	-
レベル	Level 4

**緑字** の項目はUser01さんの習得済みタスク評価項目です

**赤字** の項目はUser01さんの未習得タスク評価項目です

### ◆キャリアフレームワーク キャリアパス下位レベル条件

Group	条件	役割	専門分野	レベル
	条件が設定されていません			

### ◆レベル判定条件 全表示

判定条件	タスク	習得状況
1 全領域必須	プロジェクト立ち上げ	未習得
2 全領域必須	プロジェクト計画策定	未習得
3 全領域必須	プロジェクト進捗と実行管理	未習得
4 全領域必須	プロジェクト終結	未習得
5 全領域必須	プロジェクト個別の品質マネジメント	未習得
6 全領域必須	調達・委託先の選定	習得済み
7 全領域必須	委託業務管理	未習得

緑字で表示されている項目は、現在表示中のユーザーが習得しているタスクです。  
赤字で表示されている項目は、現在表示中のユーザーが未習得のタスクです。  
条件なしと表示されている項目は、条件が登録されていない項目です。

各タスクをクリックすると次のような画面が表示され、クリックしたタスクの条件と条件となるタスクを一覧で閲覧することができます。

◆レベル判定条件			
プロジェクト 追跡と実行管理			習得状況
全条件必須	17項目以上	プロジェクト 追跡と実行管理	未習得
		◆プロジェクトの実行管理	
		◆プロジェクトの監視と追跡	
		◆問題管理	
		◆工程完了評価	
		◆プロジェクト 状況の報告	
		◆進捗管理	
		◆資源管理	
		◆組織要員管理	
		◆調達管理	
		◆費用管理	
		◆品質管理	
		◆リスク管理	
		◆コミュニケーション管理	
		◆変更管理	
前画面に戻る			

緑字で表示されている項目は、現在表示中のユーザーが習得しているタスクです。  
赤字で表示されている項目は、現在表示中のユーザーが未習得のタスクです。

各タスク名へのリンク表示名左側にある、◆または、□は次のような意味を表しています。

- ◆：タスク評価項目に回答している場合に表示されます。
- ：タスク評価項目に回答していない場合に表示されます。

「n項目以上」をクリックすると次のような画面が表示され、タスク評価項目単位での習得状況を確認することができます。

◆レベル判定条件			
17項目以上 プロジェクト追跡と実行管理			レベル名称
	プロジェクトの実行管理	プロジェクトが計画通りに計画と実施の差異に対し計画の変更が承認され、すべてのプロジェクト実行監視および追跡の頻度をすべての異常な進行、異プロジェクト推進中のサブ問題の重要性を識別し、発生した問題に対して、大きな問題は変更管理の承認を受けて実施する	R3
	プロジェクトの監視と追跡	発生した問題に類似する他の問題の潜在的な発生を特定する	R3
	問題管理	発生したすべての問題および解決の過程を文書化する	R3
	工程完了評価	スケジュール計画で決められた期日に、工程完了条件項目に沿ってレビューおよび評価を実施する	R3
	プロジェクト 状況の報告	レビューおよび評価を行うための情報を収集する	R3
	進捗管理	工程内で認識した改善事項を、以降の工程で有効活用する	R3
	資源管理	レビューおよび評価結果を文書化する	R3
		成果物、プロジェクトの進行状況、継続活動、プロジェクト管理の結果を文書化し、報告する	R3
		重要な問題の発生とその対応結果を文書化し、報告する	R3
		承認された変更管理の実施状況およびその結果を文書化し、報告する	R3
		最優先で管理すべき作業工程(クリティカルパス)を把握する	R3
		マイルストーンにおける目標達成状況を確認する	R3
		進捗遅延に対する対策を講じる	R3
		プロジェクト全体の進捗に大きな影響を与える遅延に対しては、スケジュール変更を計画し、承認を受けて実施する	R3
		資源を計画通りに投入配置し、活用する	R3
		資源の過不足が顕著な場合は、対応策を講じる	R3
		プロジェクトの全体の進捗に大きな影響を与える資源不足に対しては、資源変更を計画し、承認を受けて実施する	R3

緑字で表示されている項目は、習得しているタスクです。赤字で表示されている項目は、未習得のタスクです。

回答ランクには登録している回答ランクが表示されています。登録がされていない場合は「なし」または「未回答」が表示されます。

タスク評価項目にはその回答ランクが複数存在するものがあります。（R1: 実行できていないが、理解し意識している、R2: 実行しているが、結果には満足できない、R3: 実行しており、その経験や成果を説明できる、R4: 他者の育成・指導ができるなど）これらには内部的に上下関係が定められており、上記の場合は上にある項目ほど上位となります。レベル判定条件で定められている回答ランクよりも上位の回答ランクでタスク評価項目を習得している場合は、その条件を満たしていることになります。上記の例の場合、あるレベルで「R3: 実行しており、その経験や成果を説明できる」が判定条件となっていれば、「R4: 他者の育成・指導ができる」、「R3:

実行しており、その経験や成果を説明できる」の回答ランクで習得している場合はこの条件を満たすことになります。

レベル判定条件（全表示）

レベル判定条件を一覧で閲覧を行います。

レベル判定条件画面の「全表示」をクリックすると、次のような画面が表示され、レベル判定条件を一覧で閲覧することができます。

レベル判定条件					レベル条件	回答ランク
プロジェクト立ち上げ 判定条件(1.全領域必須)						
全条件必須 4項目以上	プロジェクト立ち上げ	プロジェクト企画書の作成	プロジェクトの目的、目標、成果物を明らかにする	R3	R2	
			プロジェクトの実施期限とマイルストーンを明らかにする	R3	R3	
			プロジェクトの体制と要員計画の概要および必要な資源を明らかにする	R3	R1	
			プロジェクトの課題とリスクを明らかにする	R3	R0	
		プロジェクト企画書の申請と説明	審査担当者、決裁者が判明し、やすいように企画の要点を記述する	R3	R3	
			プロジェクト企画書を必要な関係者に配布し、承認の手続きをとる	R3	R3	
			プロジェクト企画書の説明と質疑応答を行い、必要な関係者の理解を得る	R3	R1	
			承認手続きを順じて設定された制約が支障とならないことを確認する	R3	R2	
		プロジェクト企画書の完成	組織内における実行可能性を検討する	R3	R0	
			プロジェクトマネージャを任命し、その役割、任務、権限を明らかにする	R3	R1	
			プロジェクトマネージャに企画内容をプロジェクトの初期要求として伝える	R3	R2	
プロジェクト計画策定 判定条件(2.全領域必須)					レベル条件	回答ランク
全条件必須 19項目以上	プロジェクト計画策定	スコープ計画の策定	プロジェクト成果を組織体の経営戦略、事業戦略等に貢献するものとして明らかにする	R3	R0	
			ユーザに対する品質保証基準としての満足度基準を明らかにする	R3	R3	
			プロジェクト推進組織が果たすべき役割と任務を明らかにする	R3	R3	
			成果物、費用、期間、品質、利用者、規模、機能、技術、リスク等のプロジェクト情報を定義し、範囲を明らかにする	R3	R1	
			プロジェクト推進の前提条件および制約事項を明らかにする	R3	R3	
		プロジェクト方針の決定	プロジェクト計画および実行時に解決すべき課題を明らかにする	R3	R3	
			スコープ管理方針を提示する	R3	R2	
			システムの特性に適合したライフサイクルモデルを選定する	R3	R2	
			システムの特性に適合したシステム開発技法、システム開発環境を選定する	R3	R1	
			プロジェクト方針の代替案を提示する	R3	R3	
		スコープの定義	プロジェクトの目的、目標を明らかにし、関係者に説明する	R3	R1	
			プロジェクトの前提条件、制約条件を明らかにし、関係者に説明する	R3	R1	
			プロジェクト全体の作業を概要レベルタスクに分解し、WBSを作成する	R3	R1	
			概要レベルタスク遂行の優先順位を明らかにし、その基準を関係者に説明する	R3	R1	

緑字で表示されている項目は、習得しているタスクです。赤字で表示されている項目は、未習得のタスクです。

回答ランクには登録している回答ランクが表示されています。登録がされていない場合は「なし」または「未回答」が表示されます。

## タスク項目レベル

※本機能は、デフォルトOFFになっています。

タスク項目レベルの閲覧を行います。

メニューの「タスク項目レベル」をクリックすると、次のような画面が表示され、閲覧したいフレームワークを選択することができます。

### タスク項目レベル

・フレームワークを選択してください

フレームワーク選択

☐ キャリアフレームワーク

フレームワーク選択

フレームワークを選択し、「フレームワーク選択」をクリックすると次のような画面が表示され、役割／専門分野を閲覧・選択することができます。

### タスク項目レベル

・役割／専門分野を選択してください

役割／専門分野選択

フレームワーク選択に戻る

役割	専門分野
<input type="checkbox"/> ビジネスストラテジスト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISストラテジスト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> プログラムマネージャ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> プロジェクトマネージャ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISアナリスト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> アプリケーションデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> システムデザイナー	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISオペレーション	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISアドミニストレータ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISアーキテクト	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> セキュリティアドミニストレータ	<input type="checkbox"/> -
<input type="checkbox"/> ISスタッフ	<input type="checkbox"/> 情報機器・情報資産管理
	<input type="checkbox"/> 事業継続計画
	<input type="checkbox"/> コンプライアンス
	<input type="checkbox"/> 人的資源管理
<input type="checkbox"/> ISオーディタ	<input type="checkbox"/> 契約管理
	<input type="checkbox"/> -

役割／専門分野選択

フレームワーク選択に戻る

閲覧を行う役割/専門分野を選択し、「役割/専門分野選択」をクリックすると次のような画面が表示され、タスク一覧を閲覧することができます。

タスク項目レベル

・レベル確認を行うタスク分類を選択してください

選択フレームワーク

キャリアフレームワーク

選択 役割/専門分野

ビジネスストラテジスト

戻る

タスク分類

事業戦略策定

☐事業環境の分析

☐事業戦略の策定

☐事業戦略実行体制の確立

事業戦略把握・策定支援

☐要求(構想)の確認

☐新ビジネスモデルへの提言

☐事業戦略の実現シナリオへの提言

IT製品・サービス戦略策定

☐市場動向の調査・分析・予測

☐IT製品・サービス戦略の策定

IT戦略策定・実行推進

☐基本方針の策定

☐IT化計画の策定

☐IT戦略実行マネジメント

システム企画立案

☐システム化構想の立案

☐システム化計画の策定

☐業務・システム要件定義

タスク分類

戻る

※選択した、役割/専門分野のレベル条件になっているタスク以外は選択できません。

閲覧するタスク分類をクリックすると、以下の画面が表示され、タスク項目レベルを閲覧することができます。

タスク項目レベル

・タスク項目レベルを確認してください

選択フレームワーク

テストフレームワーク

レベル	レベル定義
Level1	一部の知識や技術を有し、一部の業務に活用している
Level2	一部の知識や技術を有し、一連の業務に活用している
Level3	全般的な知識や技術を有し、独力で活用している
Level4	全般的な知識や技術を有し、独力で活用、後進の育成をしている
Level5	社内で専門家として、認知されている
Level6	社内外で専門家として、認知されている
Level7	社外で第一人者として、認知されている

タスク一覧に戻る

登録済みタスク項目レベル

マネージャが設定したタスク項目レベル

要求(構想)の確認

LV0

LV1

LV2

LV3

LV4

LV5

LV6

LV7

要求(構想)の確認

タスク一覧に戻る

各タスク項目のリンクをクリックすると、以下の画面がポップアップで表示され、レベル条件を閲覧することができます。

タスク項目レベル判定条件

選択フレームワーク

テストフレームワーク

閉じる

登録済みタスク項目レベル

マネージャが設定したタスク項目レベル

要求(構想)の確認

LV0

LV1

LV2

LV3

LV4

LV5

LV6

LV7

要求(構想)の確認

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

閉じる

確認を行いたいレベルをクリックすると以下の画面が表示され、レベルグループ条件を閲覧することができます。

タスク項目レベル判定条件

タイトル

テストフレームワーク

レベル

Level 1

文字

の項目はtestさんの習得済みタスク項目です

文字

の項目はtestさんの未習得タスク項目です

◆タスク項目レベル条件

要求(構想)の確認

習得状況

全項目必須

1項目以上

◆R1

未習得

前画面に戻る

閉じる

条件グループリンクをクリックすると、以下の画面が表示されレベル条件の詳細を閲覧することができます。

タスク項目レベル判定条件

・評価項目を登録してください

・詳細情報が登録されている場合には、そちらの情報が優先されます

タイトル

テストフレームワーク

レベル

Level 1

文字

の項目はtestさんの習得済みタスク項目です

文字

の項目はtestさんの未習得タスク項目です

◆タスク項目レベル条件

要求(構想)の確認

レベル条件

回答ランク

1項目以上

要求(構想)の確認

要求(構想)の確認

企業目標、中長期構想など経営レベルの要求を正確に捉えることができる

R1

未回答

企業の内外環境を正確に捉え、全社戦略指針を提案できる

R1

未回答

収集した情報から現状のリソース(ヒト、モノ、カネ、情報)に関する課題の抽出ができる

R1

未回答

設定

前画面に戻る

閉じる

「設定」ボタンをクリックすると、タスク評価項目に対する回答ランクを変更することができます。

SSI-ICD◆操作マニュアル[一般ユーザー用]\_Ver1.0.doc

31

## 個人情報プリントアウト

個人情報のプリントアウトを行います。

メニューの「提出」→「個人情報プリントアウト」をクリックすると、次のような画面が表示され、個人情報プリントアウトを閲覧することができます。

[個人情報プリントアウト](#)  
ファイル出力はこちら

印刷日: 2015/07/13  
**User01さんの個人プロフィール**

[お名前](#) 00004  
[氏名](#) User01  
[Eメールアドレス](#) User01  
[パスワード](#)  
[所属部門](#)

**User01さんのキャリアフレームワーク**

役割	専門分野	認定レベル
ストラテジックプランナー	-	-
ソリューションセールス	-	1
ビジネスコンサルタント	-	-
プロジェクトマネージャー	-	-
ITアーキテクト	-	-
アプリケーションデザイナー	-	-
アプリケーションデベロッパー	-	1
インフラデザイナー	-	1
ITサービスマネージャー	-	-
ITスタッフ	-	1

**User01さんの業務経歴**

[部署名](#) [役割](#) [開始日](#) [終了日](#) [コメント](#)  
登録されていません

**User01さんのプロジェクト経歴**

[プロジェクト名](#) [開始日](#) [終了日](#)  
登録されていません

**User01さんのセミナー受講履歴**

[セミナー名](#) [受講日](#) [コメント](#)  
登録されていません

**User01さんの評価項目**

赤字は管理専またはマネージャーが設定した項目です

登録日	タスク	評価項目	ランク
<b>事業経緯の分析</b>			
2015/06/26	経営方針の確認	自社の基本理念・ビジョン・方針を理解する	R1
2015/07/13	経営方針の確認	新たな事業計画を立案するにあたり、経営方針や経営陣の思いを確認し、共有する	R2 <span style="color: red;">訂正あり</span>
2015/06/26	経営方針の確認	事業で達成すべき目標を定めるために、企業目標を把握する	R1
2015/06/26	外部環境の分析	マクロ環境(自社を取り巻く産業や業界)の変化の要因を調査、把握する	R1
2015/06/26	外部環境の分析	自社が所属する業界や自社製品・サービスの市場規模および今後の見通しを調査、把握する	R2
2015/06/26	外部環境の分析	競合他社の市場シェア、収益性、動向を調査、把握する	R2
2015/06/26	内部環境の分析	自社の組織体制、現状人員数、配置状況を把握する	R0
2015/06/26	内部環境の分析	自社の収益性、安全性、生産性等の財務状況を把握する	R3
2015/06/26	内部環境の分析	自社の製品やサービスの売上高、利益率、ライフサイクル上のポジションを把握する	R1
2015/06/26	内部環境の分析	調達、生産、物流、サービス等の自社業務の一連の流れを把握する	R0
2015/06/26	内部環境の分析	事業管理のために必要な情報が自社のどこに、誰によって、どのように管理されているか把握する	R3
<b>事業戦略の策定</b>			
2015/07/13	基本構想の策定	事業環境分析の結果をもとに、自社の強み・弱み、市場の機会・脅威を整理し、分類する	R1 <span style="color: red;">訂正あり</span>
2015/06/26	基本構想の策定	基本理念やビジョン等の自社の思いや自らが置かれている環境をもとに、企業として取り組む範囲(事業領域)を設定する	R1
2015/06/26	基本構想の策定	事業領域のイメージをより具体化し、ビッグピクチャーを描く	R0
2015/06/26	基本構想の策定	分析の結果をもとに、成功のために重要な要因を設定し、事業に対する戦略指針を策定する	R1
2015/06/26	基本構想の策定	ターゲットとする顧客(国内・国外、業種・業態、規模、企業形態等)を設定する	R1
2015/06/26	基本構想の策定	事業戦略の具体的な項目を設定する	R1
2015/06/26	基本構想の策定	事業戦略が競合他社に対して優位性があることを検証する	R2
2015/06/26	基本構想の策定	分析結果と事業戦略の整合性を検証する	R0
2015/06/26	アクションプランの策定	事業戦略指針に取った具体的なアクション(施策)を洗い出す	R2
2015/06/26	アクションプランの策定	アクション(施策)の実施スケジュールを設定する	R0
2015/06/26	アクションプランの策定	アクションプランの実現性や実行性を検証する	R3
2015/06/26	売上計画の策定	過去の年、月等の売上実績を確認する	R2
2015/06/26	売上計画の策定	自らが該当する市場の動向(他社の動向、環境等の影響)を確認する	R2
2015/06/26	売上計画の策定	過去のトレンド、市場の動向、自社がとる施策(販促活動等)を考慮して売上計画を設定する	R2
2015/06/26	売上計画の策定	自社がとる施策(販促活動等)の市場への効果、影響を予測し、計画の妥当性を判断する	R1
2015/06/26	売上計画の策定	決算期にあわせて実施施策(販売施策、実行計画等)に対する売上予測を立てる	R1
2015/06/26	費用計画の策定	製品・サービスを作るために必要な費用を洗い出し、計算する	R3

「ファイル出力はこちら」をクリックするとhtmlファイルをzip形式で出力することが出来ます。



## 履歴差分表示

ユーザー本人のフレームワークのレベルやタスク評価項目回答ランクの差分を過去の履歴を使用し、表示します。  
比較対象となる履歴が管理者にて取得されている場合のみメニューに表示されます。

その他

◆お知らせ

◆履歴差分表示

◆個人情報プロフィール

◆パスワード変更

履歴差分表示

・User01さんの差分を閲覧します

・Fromで選択した履歴からToで選択した履歴の差分を取得します

・差分閲覧したい履歴を選択してください

FROM			TO		
選択	履歴No	履歴取得日	選択	履歴No	履歴取得日
<input checked="" type="radio"/>	現在のレベル・回答ランク		<input checked="" type="radio"/>	現在のレベル・回答ランク	
<input type="radio"/>	1	2015/07/13	<input type="radio"/>	1	2015/07/13

差分表示

CSV出力

### 差分表示

比較するFROMとTOの履歴No.を選択し、[差分表示]ボタンをクリックすると、確認アラートの後に差分結果が表示されます。FROMとTOに同じ履歴No.は指定できません。

履歴差分表示

2015/07/13の履歴 → 現在の差分

戻る

■User01さんのキャリアフレームワーク

役割	専門分野	認定レベル
ストラテジックプランナー	-	0 → 0
ソリューションセールス	-	1 → 1
ビジネスコンサルタント	-	0 → 0
プロジェクトマネージャー	-	0 → 0
ITアーキテクト	-	0 → 0
アプリケーションデザイナー	-	0 → 0
アプリケーションデベロッパー	-	1 → 1
インフラデザイナー	-	1 → 1
ITサービスマネージャー	-	0 → 0
ITスタッフ	-	1 → 1

■User01さんのスキル

タスク	評価項目	回答ランク
事業戦略実行体制の確立		
実現可能性の検証	現状と照らし合わせた事業計画の実現性を確認する	R0 → R1
実現可能性の検証	計画と実際に乖離が生じた場合の実施可能な対応策が立てられていることを確認する	R0 → R1
実施準備	実行計画を部門、職位(ポジション)、職務(役割)毎に整理する	R3 → R1
実施準備	部門、職位(ポジション)、職務(役割)別に目標を必達目標と挑戦的なチャレンジ目標に分けて設定する	R0 → R1
実施準備	全社、部門、チーム毎の目標を定期的にチェックするタイミングを明らかにする	R0 → R1
実施準備	事業計画の遂行を管理する体制を構築する	R0 → R1
実施準備	情報の共有とチェックの方法を明らかにする	R0 → R1

戻る

### CSV出力

履歴No.選択後[CSV出力]ボタンをクリックすると、下記出力フォーマット選択画面が表示されます。（“フレームワーク名”はフレームワーク認定レベルの差分を出力します。）

## CSV出力

### 2015/07/13 → 現在 差分

出力フォーマットを決定してください。

選択	フォーマットタイトル
<input checked="" type="radio"/>	タスク評価項目差分
<input type="radio"/>	キャリアフレームワーク

フォーマットを選択し[CSV出力]ボタンをクリックすると、確認メッセージの後CSVファイルが出力されます。

#### 留意事項

フレームワークレベル差分に関して、履歴として保管されているデータはレベル判定結果のみとなります。レベル判定条件の変更等は反映されません。

（変更後のレベル判定条件ではレベル1と判定されていた場合でも履歴保存時にレベル2と判定されていた場合は、レベル2として表示されます。

また、各情報（役割など）の名称は全て現在のものを使用します。